

第302回化学コロキウム



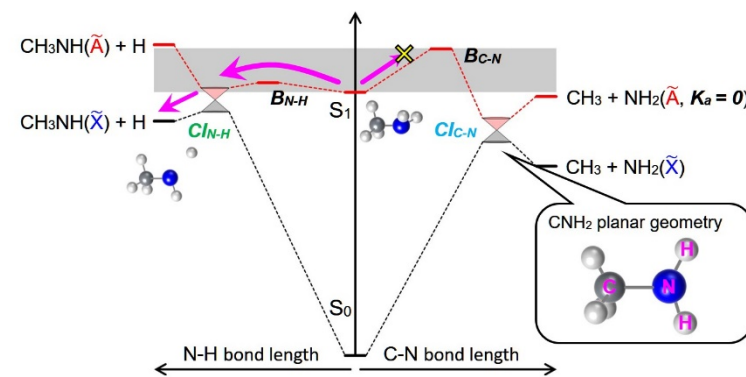
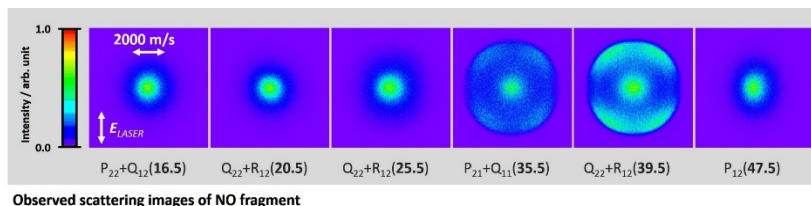
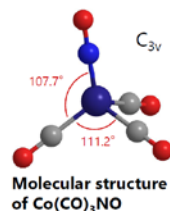
量子状態選別散乱法で探る 有機アミンの光解離ダイナミクスと遷移金属錯体の光化学

広島大学大学院・理学研究科化学専攻 高口博志先生

1月14日(火) 16時～

8-302教室

レーザー分光法とイオン・イメージング法を組み合わせた状態選別散乱法によって、多原子分子系の新しい反応様式がみつけ出されている。従来の化学反応論の範疇を超えた、階層的振動エネルギー緩和、円錐交差での生成経路分岐、大振幅振動、といった多次元・多曲面の電子状態を持つ反応系特有の反応原理が、散乱実験による仮説の検証段階を経て、確立されつつある。本コロキウムでは、アンモニア誘導体であるアミンの光反応と、遷移金属錯体の光化学の研究例を取り上げ、多原子分子系の新しい反応機構を導き出す反応ダイナミクス研究のアプローチを紹介する。



このコロキウムは大学院集中講義 R323, R324, R0323, R0324を兼ねます。

問合せ先 反応物理化学 城丸 (内線3447)